

平成31年度 収支予算書 総括表
(正味財産増減計算書方式)

平成31年4月1日～平成32年3月31日

公益財団法人 日本合板検査会

科目	予算案 (A) 千円	前年度予算額 (B) 千円	(A) - (B) 千円	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
②特定資産運用益	12,800	11,210	1,590	
特定資産受取利息	12,800	11,210	1,590	
③事業収益	669,503	686,400	△ 16,897	
1) JAS事業収益	529,205	536,150	△ 6,945	
審査料	10,100	10,350	△ 250	
製品検査料	11,480	13,920	△ 2,440	
認証料	840	620	220	
認証登録料	88,230	88,410	△ 180	
監査料	36,510	36,770	△ 260	
比較検査料	1,820	1,830	△ 10	
受託検査手数料	316,790	320,830	△ 4,040	
出張手数料	53,980	52,280	1,700	
講習・研修会手数料	8,310	9,970	△ 1,660	
証明手数料	240	220	20	
調査研究手数料	905	950	△ 45	
2) 受託等事業収益	140,298	150,250	△ 9,952	
受託試験手数料	134,510	140,970	△ 6,460	
A Q事業受託収益	2,870	4,400	△ 1,530	
CW登録事業収益	2,918	4,880	△ 1,962	
④雑収益	14,860	14,320	540	
受取利息	0	0	0	
各種頒布料	4,520	4,740	△ 220	
その他の収入	10,340	9,580	760	
経常収益計①～④	697,163	711,930	△ 14,767	
(2) 経常費用 ①+②+③				
事業費等	736,000	711,730	24,270	①JAS事業費
役員報酬	35,800	36,110	△ 310	②受託等事業費
給料手当	244,250	235,370	8,880	③管理費
賞与	52,930	50,390	2,540	
臨時雇賃金	6,770	7,110	△ 340	
役員退職慰労金繰入額	3,730	3,660	70	
退職給付費用	21,950	24,110	△ 2,160	
福利厚生費	60,670	57,580	3,090	
会議費	3,060	2,620	440	
旅費交通費	61,000	59,700	1,300	
通信運搬費	8,600	8,540	60	
備品消耗品費	23,570	13,700	9,870	
印章証票費	0	90	△ 90	
図書資料費	1,650	1,900	△ 250	
修繕費	14,750	14,500	250	
印刷費	3,080	4,640	△ 1,560	
光熱水料費	11,960	12,090	△ 130	
リース料	4,160	4,210	△ 50	
賃借料	64,390	64,120	270	
保険料	1,430	1,370	60	

諸会費	2,250	2,370	△ 120
渉外費	550	570	△ 20
諸謝金	50	50	0
広報費	3,350	3,500	△ 150
公租公課	44,940	40,490	4,450
支払手数料	10,350	11,350	△ 1,000
調査研究費	3,400	3,750	△ 350
講習・研修会費	880	790	90
雑費	1,080	1,050	30
寄付金	100	100	0
賞与引当金繰入額	25,210	24,600	610
減価償却費	20,090	21,300	△ 1,210
経常費用計	736,000	711,730	24,270
当期経常増減額	△ 38,837	200	△ 39,037
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 38,837	200	△ 39,037
II 指定正味財産増減額			
当期指定正味財産増減額	0	0	0

- 注) 1. 一時借入金(運転資金)限度額30,000千円
2. 事業収入が予算額を超過した場合、当該事業費並びに事業に必要な機械器具購入支出に充てることができる。

平成31年度 収支予算書 内訳書

(正味財産増減計算書方式) 公益財団法人 日本合板検査会
平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

単位：千円

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合計
	JAS事業費	受託等事業費		
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0
②特定資産運用益	10,854	1,344	602	12,800
特定資産受取利息	10,854	1,344	602	12,800
③事業収益	529,205	140,298	0	669,503
1) JAS事業収益	529,205	0	0	529,205
審査料	10,100	0	0	10,100
製品検査料	11,480	0	0	11,480
認証料	840	0	0	840
認証登録料	88,230	0	0	88,230
監査料	36,510	0	0	36,510
比較検査料	1,820	0	0	1,820
受託検査手数料	316,790	0	0	316,790
出張手数料	53,980	0	0	53,980
講習・研修会手数料	8,310	0	0	8,310
証明手数料	240	0	0	240
調査研究手数料	905	0	0	905
2) 受託等事業収益	0	140,298	0	140,298
受託試験手数料	0	134,510	0	134,510
AQ事業受託収益	0	2,870	0	2,870
CW登録事業収益	0	2,918	0	2,918
④雑収益	8,768	5,606	486	14,860
受取利息収益	0	0	0	0
各種頒布料	0	4,520	0	4,520
その他の収益	8,768	1,086	486	10,340
経常収益計①+②+③+④	548,827	147,248	1,088	697,163
(2) 経常費用				
事業費	634,676	66,225		700,901
役員報酬	30,967	3,329		34,296
給料手当	211,276	22,715		233,991
賞与	45,785	4,922		50,707
臨時雇賃金	5,233	1,537		6,770
退職給付費用	18,987	2,041		21,028
福利厚生費	51,449	6,370		57,819
会議費	2,595	321		2,916
旅費交通費	57,645	305		57,950
通信運搬費	7,293	903		8,196
備品消耗品費	19,987	2,475		22,462
図書資料費	1,399	173		1,572
修繕費	12,508	1,549		14,057
印刷費	2,612	323		2,935
光熱水料費	10,142	1,256		11,398
リース料	3,527	437		3,964
賃借料	54,603	6,761		61,364
保険料	1,213	150		1,363

諸会費	1,908	236		2,144
渉外費	466	58		524
諸謝金	50	0		50
広報費	2,841	352		3,193
公租公課	38,109	4,719		42,828
支払手数料	8,777	1,087		9,864
調査研究費	3,400	0		3,400
講習・研修会費	880	0		880
雑費	916	113		1,029
賞与引当金繰入額	21,806	2,345		24,151
減価償却費	18,302	1,748		20,050
管理費			35,099	35,099
役員報酬			1,504	1,504
給料手当			10,259	10,259
賞与			2,223	2,223
役員退職慰労金繰入額			3,730	3,730
退職給付費用			922	922
福利厚生費			2,851	2,851
会議費			144	144
旅費交通費			3,050	3,050
通信運搬費			404	404
備品消耗品費			1,108	1,108
図書資料費			78	78
修繕費			693	693
印刷費			145	145
光熱水料費			562	562
リース料			196	196
賃借料			3,026	3,026
保険料			67	67
諸会費			106	106
渉外費			26	26
広報費			157	157
公租公課			2,112	2,112
支払手数料			486	486
雑費			51	51
寄付金			100	100
賞与引当金繰入額			1,059	1,059
減価償却費			40	40
経常費用計	634,676	66,225	35,099	736,000
当期経常増減額	△ 85,849	81,023	△ 34,011	△ 38,837
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	39,509	△ 73,520	34,011	0
当期一般正味財産増減額	△ 46,340	7,503	0	△ 38,837
Ⅱ 指定正味財産増減額				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0

注) 1. 一時借入金(運転資金)限度額30,000千円

2. 事業収入が予算額を超過した場合、当該事業費並びに事業に必要な機械器具購入支出に充てることができる。

平成 31 年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

公益財団法人 日本合板検査会

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れ予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載する。

借入れの予定	なし		
事業番号	借入金	金額	使途
		千円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合は、その内容を記載する。

設備投資の予定	なし		
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途
		千円	